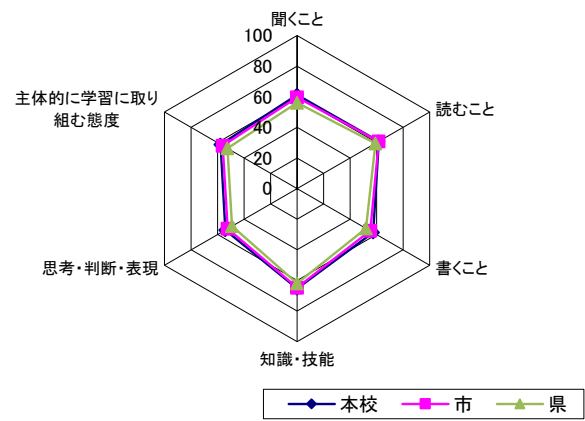


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	61.2	59.6	56.1
	読むこと	61.6	61.6	59.1
	書くこと	57.3	55.2	51.9
観点	知識・技能	65.3	64.7	61.9
	思考・判断・表現	54.1	52.4	49.1
	主体的に学習に取り組む態度	57.7	56.1	52.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○平均正答率は61.2%と県の平均を1.8ポイント上回った。 ○「対話文の応答」では、県の平均を大きく上回る結果となった。 ●内容理解の中でも、絵を適切に表している英文を聞き取る問題では、県の平均に比較的近い正答率であり、向上の余地が見られる。	・ウォームアップとして、生徒と簡単な英会話をするスモールトークを取り入れ、リスニング能力の向上に取り組む。 ・単元末テストや定期試験の際、絵やグラフを含む問題を積極的に取り入れる。
読むこと	○英文の読み取りでは高い正答率となり、特に必要な問題を読み取る問題や登場人物の適切な発言を選ぶ問題では、県の平均を大きく上回る結果となった。 ●「語形・語法の知識・理解」の一般動詞の過去形の疑問文では、県平均を下回る結果となった。	・英文の概要を理解できるよう、キーワードの見つけ方や段落ごとの読み方に重点を置き、指導する。 ・読解の際、概要把握だけでなく、新出の文法事項や単語を重点的に説明する時間を設け、文法に対する苦手意識を排除する。
書くこと	○平均正答率は57.3%と県の平均を2.1ポイント上回った。 ○「場面に応じて書く英作文」や「情報に基づいて書く英作文」では、県の平均を大きく上回る結果となった。 ●3文以上の英作文では、県の平均に比較的近い正答率となり、向上の余地が見られる。	・授業内での言語活動の終わりに、自分のことについて書かせる時間を設ける他、練習問題を解いて英文を自信を持って書けるようにしていく。 ・ライティングを活用したアクティビティを通して、書く力の向上に取り組む。